

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	6		基準を満たす人員配置をしており、療育に関わる職員は全員が資格者です。	
	3	1	5	玄関付近や勝手口はバリアフリーではありませんが、転倒やケガ防止に配慮し、安全管理を徹底しております。室内はフラットとなっております。	トイレは建物の構造上、車いすでの利用が難しくなっております。玄関に1箇所段差がありますが、今後はスロープを設置するなどの対応を検討してまいります。現在、該当する児童はおりませんが、支援が必要な児童を受け入れる際には、協議のうえ安全面に十分配慮してまいります。
	4	1	5	日々、清掃・消毒を行い、清潔保持を徹底しております。一人ひとりがゆったり、心地よく過ごせるよう配慮しています。	児童の利用状況によっては、運動スペースが十分に確保できない場合があります。今後、児童の利用時間帯などを考慮しながら対応してまいります。
	5	6		事業所内は個室スペースは設けておりませんが、児童の活動内容や状況に合わせて利用できるようになっております。	
業務改善	6	6		日常のミーティングやフレクシオン会議を通じて、常勤・非常勤問わず情報共有や話し合いを行い、現状把握と改善に努めています。	
	7	6		昨年度実施したアンケートの回答をもとに、保護者様のご意見を反映しながら改善に取り組んでおります。	
	8	6		日常のミーティングやフレクシオン会議等で常勤・非常勤を問わず情報共有や話し合いを行い、現状把握と改善を協議しております。	
	9		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については、今後の課題として検討してまいります。
	10	6		年間計画に沿って定期的に事業所内外での職員研修を行い、支援の質向上を図っております。	
適切な支援の提供	11		6	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。
	12	6		アセスメントを通じて児童や保護者様のニーズを把握し、適切な計画を作成しております。	
	13	6		モニタリングを実施した後、児童の状況や保護者様のニーズを分析し、個別支援計画(原案)をもとに策定会議を実施しています。関係職員の意見を取り入れながら、より良い支援を目指しております。	
	14	6		利用児童の課題を共通認識し、課題達成に向けた支援内容を共有しております。	
	15	6		年に2回以上モニタリングを実施し、保護者様への聞き取りや日々の療育記録をもとに確認を行っています。	
	16	6		支援計画は放課後等デイサービスガイドラインに基づき、【本人支援】の5領域より現在と当面の生活状況を踏まえ、児童の育ち全体に必要な支援を組み立てております。【家族支援】・【移行支援】についても合わせて実施しております。	
	17	6		有資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の年齢や特性を考慮しながら、全職員で話し合い、計画を立案しております。	
	18	6		季節ごとの行事やイベントを工夫しながら実施しております。	
	19	6		児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	
	20	6		当日の予定や支援内容を話し合う時間を設け、確認を行っています。	
	21	6		支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	
	22	6		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	
	23	6		定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っている。	
	24	6		ガイドラインに沿って、児童一人ひとりに合わせた基本の活動を取り入れた支援を行っています。	
	25	6		療育の場面に限りず、遊びやさまざまな活動を適して、選択や意思決定支援を行っています。	
関係機関や保護者様との連携	26	6		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状を把握した上で、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	27	6		協力医療機関をはじめ、行政や保育、学校などと常に連携し、必要な支援を行っています。	
	28	6		送迎時に行事予定やその日の様子、体調などの情報交換をおこなっております。また、送迎時間の変更についても事前に連絡・確認しております。	
	29	6		社内標準化され、共有しているアセスメントツールを使用し、就学前の情報共有に努めております。	
	30	6		現在該当する児童は在籍しておりません。	児童の成長とともに、必要な連携の一環として対応してまいります。必要に応じて適宜連携を図ります。
	31	6		児童発達支援センターや専門機関と連携し、見学や研修、助言を受けております。	今後については、状況を鑑みながら検討してまいります。
	32	6		コロナ禍以降、交流はできておりませんでした。	保護者様のご意向を伺いながら、交流の機会を検討してまいります。
	33	6		現在、積極的な参加ができておりません。	各協議会・部会への参加ができるよう、調整してまいります。
	34	6		日頃から保護者様との情報交換に努め、連携を図っております。随時その情報を職員間で共有・更新できるよう報告し合い、記録するなど把握に努めております。	
	35	6		送迎時などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要に応じて効果的な支援方法などをその都度お伝えするよう努めております。また、療育上必要で、ご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
保護者様への説明責任等	36	6		保護者様に分かりやすいよう、丁寧な説明を行っています。	
	37	6		放課後等デイサービス計画を作成する際は、児童や保護者様の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮の観点から、児童や家族の意向を確認する機会を設けています。	
	38	6		ガイドラインに基づいて個別支援計画を作成し、保護者様へ説明し、ご理解をいただいた上で同意を得ております。	
	39	6		日頃から、相談や申し入れに対して迅速かつ適切な対応に努めており、今後も継続してまいります。	
	40	6		コロナ禍以降、交流はできておりませんでした。	感染症予防の観点から、積極的な開催は自粛しておりますが、保護者様のご要望があれば検討してまいります。
	41	6		苦情受付窓口と責任者を設け、重要事項説明書に明記しております。保護者様からのご意見や苦情には、その日のうちに職員間で話し合い、改善策を保護者様に提案しております。	
	42	6		公式 Web サイトのブログや SNS 等で情報を発信しております。HUG マイページにて、利用日ごとの療育や活動内容をお伝えしております。	
	43	6		個人情報保護法に基づき厳格に管理し、十分に配慮しております。	
	44	6		常に良い関係が築けるよう、伝え方や言葉の選択、手段にも最大限の配慮を行っております。	
	45	6		事業所内に招待するイベントは行っておりませんが、敷地内の大家さんとの交流(手紙交換・野菜栽培)を行っております。	関係者様のご意向を伺いながら、交流の機会を検討してまいります。
非常時等の対応	46	6		常に保護者様、職員が確認できるよう壁面に掲示し、定期的に児童と共に訓練を実施しております。	
	47	6		避難訓練は年間計画を立て、児童も参加して定期的に実施しております。訓練の様子は事業所だよりを通じて紹介しております。	
	48	6		アセスメント時に聞き取った詳細を職員間で共有しております。	
	49	6		指示書がある児童については保護者様と情報共有を行い、各児童のアレルギーについては一覧表を作成し、全職員に周知しております。	
	50	6		安全計画を作成し、常に閲覧できるようにしております。安全管理に必要な研修や訓練を実施し、児童の安全を第一に考えて支援を行っています。	
	51	6		緊急時の避難場所等について、保護者様には説明を行い、文章をお渡ししております。	
	52	6		ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して回覧し、周知ミーティングを行いながら再発防止に努めてまいります。	
	53	6		事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修を実施して認識を深めております。	
	54	6		利用契約書には原則として身体拘束の禁止を記載しておりますが、やむを得ず必要な場合は、事前に十分な説明を行い、保護者様の承諾を得た上で支援計画に記載しております。	

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。